



佐保田の丘

第66号

桜とともにすすむ新たな一歩

新しい年度が始まりました。今年は暖かな日が続き、例年より早く桜が満開の時期を迎えました。校庭の桜もやわらかな春の光を受けて咲き誇っています。皆さんの新しい一歩を温かく見守っているようです。

桜は、日本の春を象徴する花です。その美しさとともに、私たちの心に強く残る理由の一つは、「咲いている時間の短さ」にあるのではないのでしょうか。満開を迎えたと思ったら、やがて花びらは風に舞い、地面を淡い色に染めていきます。その姿には、どこかはかなさと同時に、次へとつながる力強さも感じられます。桜の花が散るとすぐにわかばが芽生えます。そして、短期間の間に葉を茂らせ、初夏の日差しをいっぱい受けながら成長していきます。

この桜の姿は、私たちの学校生活にも重なります。一日一日は長いようでいて、振り返ればあっという間に過ぎていきます。何気ない友達との会話、授業での発見、部活動での努力、その一つひとつが、かけがえのない時間です。皆さんには、ぜひその「かけがえのない時間」を大切にしてください。また、桜は夏に花を咲かせる準備をします。厳しい冬の間は、じっと力を蓄え、春になると一気に花を咲かせます。目に見えないところで準備を重ね、厳しい環境を乗り越えることができたからこそ、あの美しい姿があるのです。勉強や部活動も同じです。すぐに結果が出ないこともあります。日々の努力は決して無駄にはなりません。皆さん一人ひとりが、自分のペースで力を蓄え、やがて自分らしい花を咲かせてくれることを願っています。



桜は毎年同じように咲きますが、その年ごとに私たちの感じ方は違います。鮮やかな桜色に見えるときや白くはかない色に見えるときなど、様々です。今年の桜が、皆さんにとって特別な意味を持つものとなるよう願っています。

この春の始まりとともに、一人ひとりが新たな目標に向かって歩み出し、実りある一年を築いてください。

○ 学年配当

	学年主任	学年担当	特別支援主任 大谷
1年	吉岡	甲谷・篠原・津田・挽地・山本(浩)	福嶋
2年	堤(祥)	浅井・佐藤・野木・堀内・森・山本(達)	北
3年	葉山	市橋・田谷・堤(彦)・中澤・中嶋・増井	牧原

○ 校務分掌

教務部	◎奥原 葉山・森・挽地	図書部	◎田谷 東
文化部	◎山本(達) 津田・牧原	環境 整美部	◎成田 中嶋・吉岡
保体部	◎佐藤 増井・福嶋・甲谷	研究 推進部	◎吉田 堤(彦)・堤(祥)・浅井 篠原・大谷
生活部	◎市橋 中澤・堀内・野木 甲谷・北・山本(浩)	教育 相談部	◎津田 中川・有馬・吉岡 堤(祥)・葉山・成田 大谷・市橋・吉田

○ 企画委員会

中川(校長)・有馬(教頭)・吉田(主幹教諭)・奥原(教務・進路主任)・市橋(生活部主任)・吉岡(1年主任)・堤(祥)(2年主任)・葉山(3年主任)・大谷(特別支援主任)

○ 離任・着任

離任	丹後七重(社会)・竹田ゆい(社会)・今西昇平(理科)・松田孝史(英語)・堀川孝子(英語)・長友紀子(美術)・片岡千枝(特別支援)・若森達哉(国語)→奈良教育大学教職大学院へ研修
着任	田谷清鈴(国語)・増井智次(社会)・山本紗哉加(社会)・森大晃(理科)・野木昌直(英語)・中澤宏太(英語)・堤祥晃(美術)・夏目有香(特別支援)



チーム担任制について

生徒一人ひとりに対して、よりきめ細やかな指導・支援を行っていくため、本校では今年度より「チーム担任制」を導入します。3月13日の説明会で校長よりご説明した内容について、共有させていただきます。

Q1. チーム担任制の目的は？

主な目的は次の3点です。

- ① 子ども一人ひとりを多面的に支援するため
- ② 指導の質をさらに高めるため
- ③ 教員の負担を適正化し、安定した教育を継続するため
複数の目でお子様を見ることによって、より丁寧で迅速な対応が可能になると考えています。

Q2. 担任がはっきりしないと無責任になりませんか？

心配はごもっともだと思います。本校では、必ず各学級に「主担当」がおりますが、日々の様子や気になることは学年全体で共有し、誰か一人に任せきりにしない仕組みを考えております。チームで情報共有を行い、複数で確認することで、対応の質を高められると考えています。

Q3. 子どもが誰に相談すればよいのか、わからなくないませんか？

「うちの子は人見知りです。関係が浅くなりませんか？」

その点も大切に考えています。子どもたちには「主担当」をはじめ、相談できる先生を具体的に伝えます。また、複数の先生が関わることで、子どもたちが「話しやすい先生」を選べる環境にもなります。主担当が中心となりながら、関係づくりを丁寧に進めます。

Q4. これまでの担任制のほうが安心では？

これまでの体制にも良さがありました。ただ、近年は子どもたちを取り巻く環境が多様化し、より専門的・多面的な支援が求められています。チーム担任制は、その変化に対応するための取り組みです。決して従来を否定するものではありません。

Q5. 教員の働き方改革のためでは？ 子どもが後回しでは？

確かに教員の負担軽減も目的の一つです。しかし、それは子どもたちへの教育の質を維持・向上させるためです。教員が安定して働ける環境を整えることは、結果的に子どもたちへの安定した指導につながります。

Q6. 問題が起きたとき、対応が遅れませんか？

むしろ逆で、複数の教員で常に情報共有を行うため、早期発見・早期対応が可能になります。主担当が不在でも即座に対応できる体制を整えています。

Q7. メリットだけでなくデメリットも説明してほしいです。

《メリット》

- ・複数の教員が情報共有を行うため、相談体制がより充実します。
- ・担任不在時も継続した指導・対応が可能です。
- ・学年全体で統一した指導が行えます。

《想定される課題》

- ・指導方針の不一致
- ・責任の所在が曖昧になる可能性
- ・情報共有不足による混乱

チーム担任制にも課題はあります。しかし、その課題を想定し、仕組みとして対策を整えています。

複数の目で見守りながら、責任は明確に。
情報は必ず共有する。
これが本校のチーム担任制の基本姿勢です。

○ 情報共有の方法について

定期的に学年会議を行い、生徒の様子や気になる点を共有します。また、日々の出来事は、アプリを用いて、学年教員がいつでも確認できるようにする予定です。気になることがあれば、その日のうちに共有し、必要に応じて生活部等とも連携します。

保護者の皆さまからご連絡いただいた内容も、主担当だけで抱えるのではなく、学年で共有し、よりよい対応を検討し、改善を重ねていく所存です。

「附中の小窓」について

日々の学校生活のようすについては、学校ホームページ内のブログ「附中の小窓」で紹介しています。

ぜひ、インターネット検索で「附中の小窓」を検索してみてください。

附中の小窓



附中の小窓